

松豊八幡宮は五条橋西爪にあり、首途八幡とも称す。清和天皇の御宇貞観年中の草創なり。其後皇子貞純親王の御靈を祭、親王の息六孫王経基公尊崇ありて、宮殿楼門嚴重に再建し給ひ、封境広大なり。「外封には十二門ありといふ、平清盛の代滅亡して少地となる」